

## 課題1 登場人物の心情の把握

県の通過率 27.5% ⇨ 57.1%

### 問題 三3(3)

この設問は、平成21年度の調査から継続的に通過率が60%未満であり、継続した課題である。  
 これまでの誤答等の状況を見ると、場面の展開や登場人物の言動等に注意して読むことや、心情が表れている叙述を基に自分の考えをまとめる力の定着が不十分である。この4年間、全ての設問の中で最も無解答率が高い。

#### <経年比較>

年度	通過率(%)	無解答率(%)
平成24年度	57.1	6.0
平成23年度	27.5	17.3
平成22年度	51.4	12.0
平成21年度	44.0	21.0

	主な誤答と無解答	割合(%)
1	「たのもしく」はあるが具体がない	16.8
2	においを感じる	1.7
3	無解答	6.0

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

次の中には、この文章を読んだ二人の生徒の会話が書かれています。あとの(1)と(3)の問いに答えなさい。

資料編 参照 椰月美智子 「しずかな日々」による。

(3) には、『ぼく』の気持ちを表す言葉が入ります。あとの文に続くように、本文中の言葉を使って二十字以内で書きなさい。

#### 誤答1

場面の展開や登場人物の心情の描写に注意して読み、心情を把握することができていない。 【16.8%】

## これまでの報告書で示した指導改善のポイント等

- 文章全体を読んであらすじをおおまかにとらえさせていますか(H21 P69)
- どのような出来事が心情に変化を与えたのかを明確にさせていますか(H21 P70)
- 心情が表れている言葉(直接表現, 間接表現)を教えていますか(H21 P70)
- 手がかりとなる叙述をもとに読み取ったことを個人でまとめさせていますか(H21 P71)
- 手がかりとなる叙述に基づいて、生徒同士で読み取ったことを交流させていますか(H21 P71)
- 交流した後、自分の考えを個人でまとめさせていますか(H23 P13)
- 教科書教材と関連する作品を読ませ、生徒の読む能力を向上させていますか(H21 P72)



## 教材文をしっかりと読ませていますか？

- 生徒の中には、ゆっくり読んだり何度も読んだりすることで内容を理解する者もいます。教師の範読を聞かせる、個人で音読させる、ペアで音読させる、黙読させるなどの指導を通して、文章をしっかりと読んで内容を理解する力を育成しましょう。

# <事例紹介> 三次市立塩町中学校

## ポイント

- 「読書会をする」という単元を貫く言語活動を設定し、テーマに即した本を選んで読ませる。 **1**
- 読む観点を第一次で学習し、その観点に即して心情が表れている叙述とそこから想像できる登場人物の心情をノートにまとめさせる。 **2**
- 第二次では2つの作品を重ねて読ませ、考えを交流させる。 **3**
- 「登場人物はどのような考え方をしているか、それはどこから分かるか」「中心人物の考え方がどこでどのように転換したか」を意識させる発問をする。 **4**

(単元の概要)

- 「交流して読みを深めよう」  
～人間らしく生きる～
- 第1学年
- 主な指導事項 読むことウ、オ、(カ)
- 第一次 単元の見通しをもつ
  - ・「人間らしく生きる」というテーマで読書会を開くという単元の見通しをもち、学習計画をたてる
  - ・文学的文章を読む観点を学習する **2**
- 第二次 2つの作品を読む **3**
- 「ベンチ」を読む (結末を伏せたもの)
  - ・「登場人物はどのような考え方をしているか、それはどこから分かるか」を読み取る
  - ・「中心人物の考え方がどこでどのように転換したか」を読み取る **4**
  - ・「作品の結末を予想し、自分だったらどうするか」を考え交流する
- 「大人になれなかった弟たちに」を読む
  - ・「場面の展開や登場人物の描写から、主人公や母の心情を読み取る」 **2**
  - ・「作品に対する自分の考え」を交流する
- 第三次 自分で作品を選び読書会をする

生徒のノート例

めあて 表現に着目してぼく母の心情を読み取りたい

かわいくてかわいくて  
しかたがなかったのですか……  
それなのに飲んでしまいました。

いけいけと分かって  
がまんできない  
空腹  
甘いものが飲みたい  
結局

そのときの顔を、  
僕は今でも忘れません  
ぼくたちを必死に守ってくれた美しい  
胸がはばいには、僕も悲しい  
悲しい悲しいでも美しい  
最高の母、頼もしいたくましい  
いつかぼくもそうなりたい

ノート上段(板書)  
叙述から想像される登場人物の心情について授業で発表したことをまとめています。

せいかく田舎まで来たのに「食べ物がないし」  
断られるとは思わなかった母も同じ気持ち  
ろなのに僕たちのために強く振る舞って  
ぼくは母をほこりに思う

ノート下段(思考スペース)  
自分の考えを書き、友達  
の意見を書き加えることで  
思考を深めています。  
授業で調べた重要語句の  
意味等も、ここに記入します。



読書会の様子

「読書会」により、1冊を選んで読み通す必然性が生まれ、生徒の主体的な読書活動につながりました。第二次でも考えを交流させ、生徒自身に読書会を常に意識させています。

◆ この事例以外にも、成果を上げている学校の取組として、次のような指導があります。

(例1) 個人→グループ→個人で思考させる  
根拠となる叙述に線を引かせ、個人で心情曲線を描く。心情変化についてグループで交流した後で、再度個人でまとめさせる。

(例2) 教室内に作者紹介と関連図書を展示する  
生徒がいつでも手に取って読むことができるように、教室内に本を展示し、読書意欲を喚起している。(右写真)



**課題2 文脈上の語句の理解**

県の通過率 41.3% ⇨ 88.6%

**問題 三2**

平成 23 年度に問い方を変え、「時間経過を表す副詞」を問う設問としたところ、通過率が大きく下がった。  
今年度の設問については、定着状況に改善がみられた。

<経年比較>

年度	内容	通過率 (%)
平成 24 年度	時間経過を表す副詞	88.6
平成 23 年度	時間経過を表す副詞	41.3
平成 22 年度	擬態語の用法	93.3
平成 21 年度	多義語の意味	96.2
平成 20 年度	多義語の意味	88.2
平成 19 年度	辞書的な意味と文脈上の意味	61.7
平成 18 年度	辞書的な意味と文脈上の意味	92.1

誤答と無解答	割合 (%)
イ	7.5
ア	2.3
ウ	0.8
上記以外の解答	0.2
無解答	0.7

**誤答イ** 直前や直後の文だけを読み、当てはまりそうな語句を選んでいる。 【7.5%】

**誤答ア・ウ** 文脈に合う言葉を選んでいない。 【3.1%】

おじいさんが横にいるから、（ ）（さみしくなかった。  
文章中の（ ）（ ）にあてはまる最も適切な語を、  
次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。  
ア やがて      イ もともと      ウ かならず  
エ もう

※ 資料編 参照  
柳月美智子 「しずかな日々」による。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

**昨年度の報告書で示した指導改善のポイント**

- 文学的な文章を読む場合に、機械的に場面を区切って場面ごとに教師の発問に答え、ていく授業だけでなく、文章全体を生徒が目的をもって主体的に読む工夫をしましょう。  
例えば「物語を読んで、自分が選んだ場面の朗読をする。」「登場人物のその後の生き方を考える」といった単元を貫く言語活動を設定し、文章全体を読んだり、必要に応じて細部を読んだりさせましょう。



## 課題3 文章の展開の把握

県の通過率 42.5% → 91.0%

## 問題 4

平成 23 年度に問い方を変え、特定の段落が文章の中でもつ役割を問う設問としたところ、通過率が大きく下がった。

今年度の設問については、定着状況に改善がみられた。

## ＜経年比較＞

年度	通過率(%)
平成 24 年度	91.0
平成 23 年度	42.5
平成 22 年度	73.8
平成 21 年度	56.5

誤答と無解答	割合(%)
ア	3.3
エ	2.3
ウ	2.2
上記以外の解答	0.1
無解答	1.1

ア それまでの内容を受けて、新たな疑問を提示している。  
 イ それまでの内容を受けて、分かったことをまとめている。  
 ウ それまでの内容を否定して、別の話題を提示している。  
 エ それまでの内容を否定して、その理由を説明している。

文章中の        の段落は、文章の中でどのような役割をもっていますか。次のア～エの中から最も適切なものを選び、その記号を書きなさい。

野田道子 「植物は考える生き物!？」による。  
 ※ 資料編 参照

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

## 誤答ア・エ・ウ

段落相互の関係を正しく捉えることができていない。  
 文章の大きなまとまりごとの役割を理解できていない。

【7.8%】

## 昨年度の報告書で示した指導改善のポイント

- 枠組みや矢印等を全て教師が書いてしまい、生徒がキーワードを入れるだけの文章構成図を用いる学習では、生徒は中心的な部分を読み分けたり、段落相互の関係を捉えたりする必要がなくなります。生徒自身に「この段落は、文章の中心的な部分だから太く囲む。」「ここは実験に対する結果だから矢印でつなぐ。」等を意識させながら、文章構成図を作成させましょう。
- 小学校第3・4学年では、「段落相互の関係」に注意しながら文章を書いたり読んだりすること、第5・6学年では、自分の考えを明確に表現するために、文章全体の構成の効果を考えて書くことや、文や文章にはいろいろな構成があること等を学んでいます。中学校では、これらの既習事項を想起させたり確認したりしながら、文章構成について指導しましょう。

